

東京書籍 1年

身のまわりの物質 P108～P113



A 4899212060A

個別指導TAKUMI塾

問 次の問いに答えよ。

- (1) 炭酸水をスライドガラスにとって熱すると後に何が残るか。
- (2) 硫酸銅水溶液をスライドガラスにとって熱すると後に何が残るか。
- (3) 高温の水に物質が多量に溶けている場合、その水溶液をゆっくり冷やしていくと、溶けていた物質が、いくつかの平面で囲まれた規則正しい形をした固体となって出てくることがある。これを何というか。
- (4) 物質を一度水に溶かしてからその水溶液を加熱し、水を蒸発させてふたたび結晶として取り出すことを何というか。
- (5) 40℃の限度まで硝酸カリウムを溶かした水溶液160 gを20℃まで温度を下げると、何 gの硝酸カリウムが結晶となって出てくるか。
(100 gの水に溶ける硝酸カリウムの質量の限度は20℃で32 g, 40℃で60 gとする)
- (6) 高い温度で、多量の砂糖が溶けている水溶液から砂糖を取り出すにはどうしたらよいか。
- (7) 液体の中に入れた物質が完全に液体と混ざって透明になることを何というか。
- (8) 一定の量の水に限度まで溶質を溶かしている水溶液を何というか。
- (9) 溶質をそれ以上溶けきれない限度まで溶かした状態を何というか。
- (10) 溶媒100 gに溶けることのできる溶質の最大のグラム数を何というか。
- (11) ホウ酸が水に溶けることができる量は水の温度が上がるとどうなるか。
- (12) 一定量の水に溶ける物質が気体の場合には、水の温度が上昇すると溶ける質量は多くなるか、少なくなるか。



A 120402010001011A



A 120402010002011A



A 120402020001011A



A 120402020002011A



A 120402020003011A



A 120402020005011A



A 120402040001011A



A 120402050001011A



A 120402050002011A



A 120402080001011A



A 120402080002011A



A 120402080003011A

東京書籍 1年

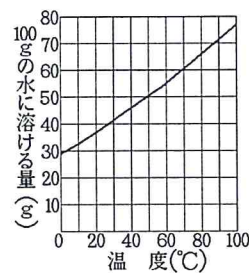
身のまわりの物質 P108～P113

個別指導TAKUMI塾

- (13) 塩酸や炭酸水の場合、水の温度が上昇すると一定量の水に溶ける物質の質量は減少する。それはなぜか。簡単に答えよ。

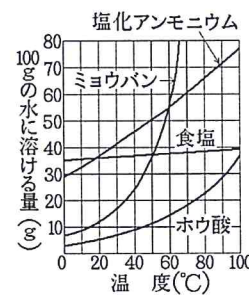


- (14) 60℃のとき、100 gの水に溶ける塩化アンモニウムの量の限度はいくらか。図をみて答えよ。



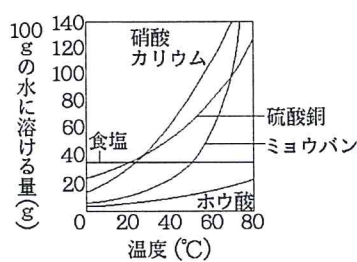


- (15) 水の温度が30℃のとき、100 gの水に溶ける量のいちばん大きい物質はどれか。図をみて答えよ。





- (16) 水の温度を変化させてもあまり100 gの水に溶ける量の変わらない物質はどれか。図をみて答えよ。





- (17) 20℃の水150 gには何 gまで砂糖が溶けるか。
(20℃の水100 gに溶ける砂糖の質量の限度は204 g とする)



- (18) 80℃の水50 gに5 gの食塩が溶けている水溶液には、あと何 gまで食塩を溶かすことができるか。
(80℃の水100 gに溶ける食塩の質量の限度は38.4 g とする)



- (19) 40℃の水300 gには、何 gまで硝酸カリウムが溶けるか。
(40℃の水100 gに溶ける硝酸カリウムの質量の限度は60 g とする)



- (20) 水など溶媒の温度と、その溶媒に対する物質の溶解度との関係を表したグラフ(曲線)を何というか。



東京書籍 1年

身のまわりの物質 P108～P113

個別指導TAKUMI塾

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| (1) 何も残らない | [12-04-02-01-0001] |
| (2) 硫酸銅 | [12-04-02-01-0002] |
| (3) 結晶 | [12-04-02-02-0001] |
| (4) 再結晶 | [12-04-02-02-0002] |
| (5) 28[g] | [12-04-02-02-0003] |
| (6) 水溶液を冷やす(再結晶させる) | [12-04-02-02-0005] |
| (7) 溶解 | [12-04-02-04-0001] |
| (8) 飽和水溶液 | [12-04-02-05-0001] |
| (9) 飽和(飽和状態) | [12-04-02-05-0002] |
| (10) 溶解度 | [12-04-02-08-0001] |
| (11) 溶ける量が増す | [12-04-02-08-0002] |
| (12) 少なくなる | [12-04-02-08-0003] |
| (13) 溶ける物質が気体であるから | [12-04-02-08-0004] |
| (14) 55[g] | [12-04-02-08-0005] |
| (15) 塩化アンモニウム | [12-04-02-08-0006] |
| (16) 食塩 | [12-04-02-08-0007] |
| (17) 306[g] | [12-04-02-08-0008] |
| (18) 14. 2[g] | [12-04-02-08-0010] |
| (19) 180[g] | [12-04-02-08-0011] |
| (20) 溶解度曲線 | [12-04-02-08-0018] |